



富合中学校 学校だより 第19号

令和5年6月23日（金）発行

文責 校長 林田武海

～ 笑顔があふれ 生き生きと輝く 富中生 ～



## 学校訪問で生徒の様子を見ていただきました

（市教委 人権教育指導室より）

本日の午後は「学校訪問」があり、市教育委員会の人権教育指導室より3名の先生方をお迎えしました。今回の訪問では、本校の人権教育の推進状況について様々な点から見ていただき、気づきなどをもとに協議する場を持ちました。また、5時間目には人権学習の授業を2つのクラスでおこない、生徒たちの様子も見ていただきました。他のクラスがいつもより早い下校をした後の“特別な時間”でしたが、1年1組と3年2組の生徒たちは最後まで真剣に授業に臨み、授業のねらいにせまる考えを深めていきました。



〈1年1組 力田洋次先生の授業〉



〈3年2組 河野将己先生の授業〉

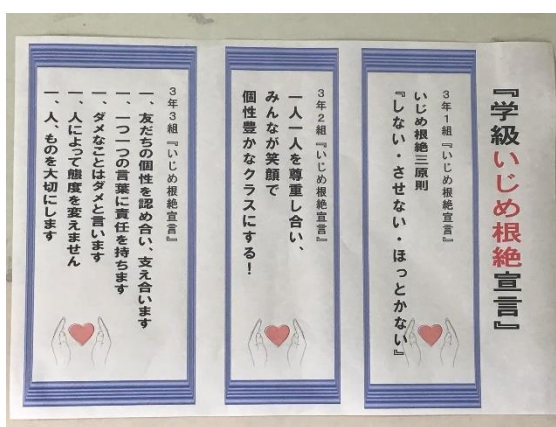
訪問された先生方からは、“生徒たちが、自分の思ったことを言える雰囲気がよくできていますね”“生徒が意見を出したあとに具体例を出してさらに説明しているのが素晴らしかった”“授業をされる先生が見せる笑顔が生徒の安心感を生んでいる”などのお褒めの言葉もいただき、生徒や先生方の頑張りをしっかり認めていただきました。まだ中体連大会の期間中にもかかわらず、私たちの学びを深めてくれた1年1組と3年2組の生徒たちや先生方に感謝です。人権に関する学びは、子どもや大人といった立場に関係なくだれもが学び続けなければならないものだと思います。富合中学校の目指す“笑顔があふれ 生き生きと輝く 富中生”のために、これからもみんなで人権感覚を育んでいきます。

## 「学級いじめ根絶宣言」を各クラスで考えました

学校だよりの第16号（6月8日発行）で、“熊本市では6月を「いじめ根絶強化月間」と定めて、様々な取組をしたり、いじめのことや人権のこと等についてじっくり考えてもらったりして、いじめを根絶するために全部の学校で取り組んでいくこととしています”と、お知らせしていました。本校では、各学年・クラスで、人権学習の授業に取り組んだ



りいじめ根絶について考えたりする機会を設けました。各クラスで考えた「学級いじめ根絶宣言」を紹介します（写真）。よく考えられた宣言を、日常生活でそれぞれの意識や心に落とし込んで、だれもが“安心できる”学校生活を送れるようにしてほしいと思います。



### 市中体連大会熱戦中！

先週末からおこなわれている市中体連大会では、本校の生徒たちも持てる力を出し切って各競技で熱戦を展開中です。生徒たちがひたむきに頑張る姿、生き生きと輝く場面を目の当たりにし、応援していてとても清々しい気持ちになります。保護者の方にも全力の声援を送っていただき感謝です。結果は随時、安心メールでお知らせしておりますが、明日から来週にかけても女子バスケットボール、女子バレーボール、弓道、水泳、卓球と続いていきますので、引き続きの応援をよろしくお願いします。